

1. ある日突然、経審博士シリーズがエラーを表示し立ち上がらなくなったときの対処方法

■ 内容

昨日まで稼働していた経審博士シリーズがある日突然、「バージョンアップに失敗しました。」
「プロバイダーの種類が・・・」のメッセージが表示され稼働できなくなります。

これらの原因は、Windows の OS の自動更新にあるようです。今まで使用していた経審博士シリーズのデータがどこにあるか分からなくなったためのエラー表示です。

対処方法は、3 つほどあります。各コンピュータの機会内の環境により違いがあるようですので、それぞれを試してください。なお、データが無くなっていることは殆どありませんので心配ありません。解説に関しては、Windows10 の環境上で行います。他の環境でも基本は同じです。

1-1 プログラムの再インストール

一番手っ取り早く実施できる方法です。

1-1-1 はじめに、現在のプログラムをアンインストール（削除）します。

コントロールパネル（設定）の「アプリの設定」により「経審博士」をアンインストールします。この操作でプログラムを消しても、入力したデータは消えることはありません。

1-1-2 新たに最新の経審博士シリーズをインストールします

最新のプログラムは、「経審博士メンバーズ」よりダウンロード(無償)できます。「経審博士メンバーズ」はソフト購入時にメールでご案内していますが、もし、そのメールがどこにあるか分からない方は、メールもしくは電話でご連絡ください。再発行します。

以上で稼働できます。

1-2 データがあるところを探して経審博士のプログラムで再読み込みする

この方法は、経審博士シリーズのデータを経審博士の中にあるプログラムで読み込む方法です。

通常は、C:\program files\shinsa13\data\の中に ShinsaFormUserdata.sdf としてデータが入っています。しかし、最近の Winsows の OS は、データの保護のために、データが消されないようなところに自動的に格納するからです。

ここでは、これらのデータのあると思われるフォルダの場所と、どのフォルダ全く分からないときの検索方法に関して説明します。

1-2-1 経審博士シリーズは、通常下記のフォルダに皆さんのデータが保存されています。

経審博士の種類	データが保存されているフォルダの位置とファイル名
経審博士 13 (+Form)	C : ¥program files¥shinsa13¥data¥ShinsaFormUserdata. sdf
経審博士 12 (+Form)	C : ¥program files¥shinsa12¥data¥ShinsaFormUserdata. sdf

1-2-2 通常のフォルダにデータがないとき

経審博士の種類	データが保存されているフォルダの位置とファイル名
経審博 12 or 13 (+Form)	C¥Users¥「お客様のログイン ID」 ¥AppData¥Local¥VirtualStore¥ProgramFiles¥¥Data ¥ShinsaFormUserdata. sdf

注：「お客様のログイン ID」とは、windows を立ち上げたとき最初に入れるパスワードのことです

※ 上記は一例です。

※

1-2-3 データの検索方法 (Windows 10)

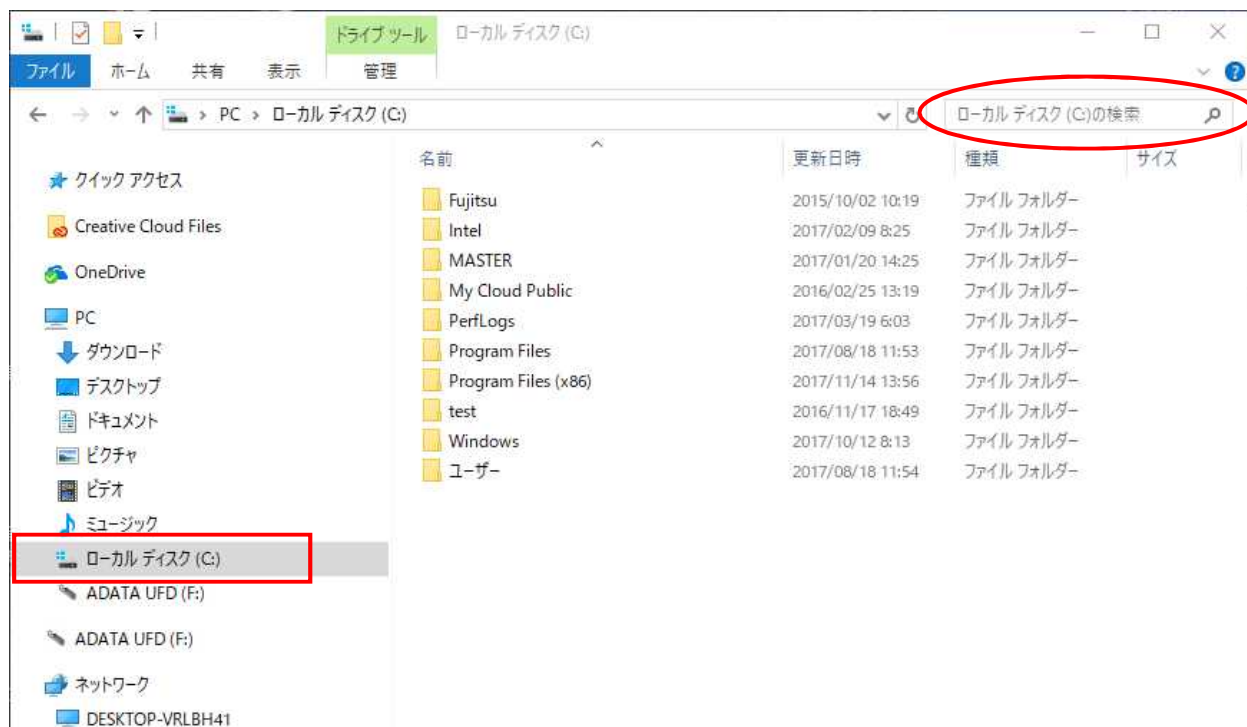


画面の左下のエクスプローラーをクリックして立ち上げます、

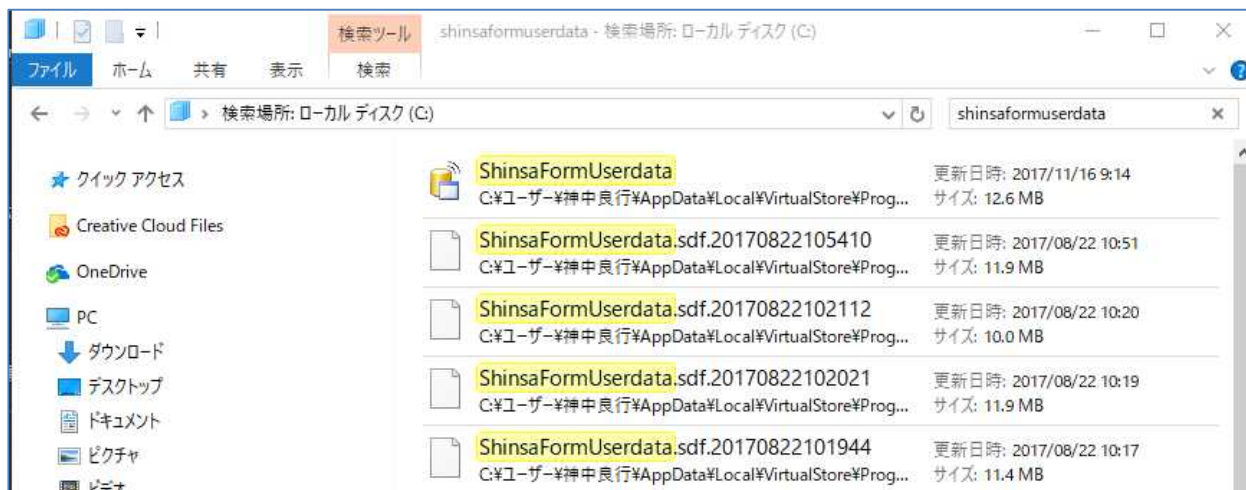
コンピュータ画面の左下に黄色いバインターを表したアイコンがあります。ここをダブルクリックするとエクスプローラーが立ち上がります。もし、このアイコンが見つからないときはキーボードの左下にウィンドウズの旗のキーボードがあります。このキーを押しながら「E」のキーボードを押すとエクスプローラーが立ち上がります。

【1】 データの検索方法

- ① エクスプローラーの左画面にお気に入り、ライブラリー、コンピュータ、ネットワークの項目があります。コンピューターの下に「ローカルディスク (C)」をクリックします。右側の画面に C ドライブのフォルダが表示されます。
- ② エクスプローラーの右上に「ローカルディスク (C) の検索」と表示される枠がありますので、その中に
ShinsaFormUserdata
と入力して<Enter>キーを押します。



【2】 ファイルの選択



検索の結果、4つの検索結果がそれ以上のファイルが表示されます。

¥dataprg¥～ のファイルは初期の空データです。

- ② これらのデータを全て場所の分るところにコピーをします。
- ② 全て、ファイル名が同じですので、Cドライブの分るところか、USBメモリーに検索しただけの別名のフォルダを作成し、それぞれのコピーしたファイルを貼り付けていきます。



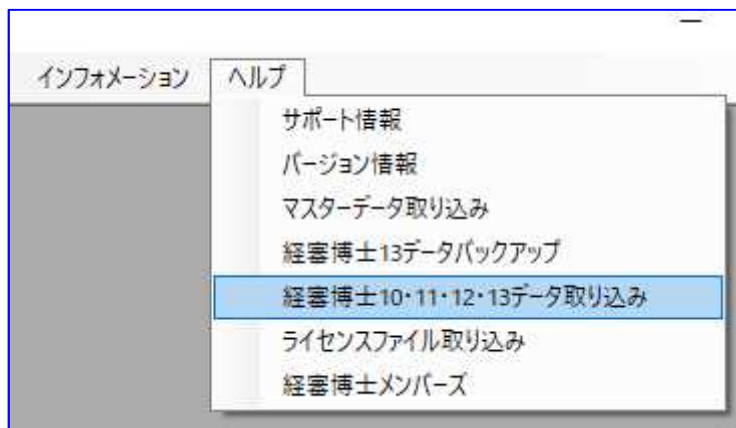
ファイルのコピー方法は下記を参照ください。

このファイル名の上にマウスを当ててマウスの右ボタンを押すとメニューが表示されますので、コピー（C）を指定してクリックします。

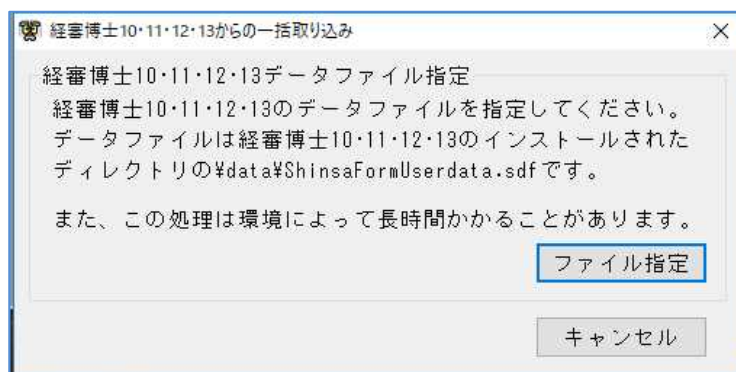
1-2-4 経審博士 13（+Form）のデータのデータ取り込み方法

前ページで指定のフォルダにコピーしたデータをこの機能を使ってひとつずつ読み込ませるデータが存在するが確認を行います

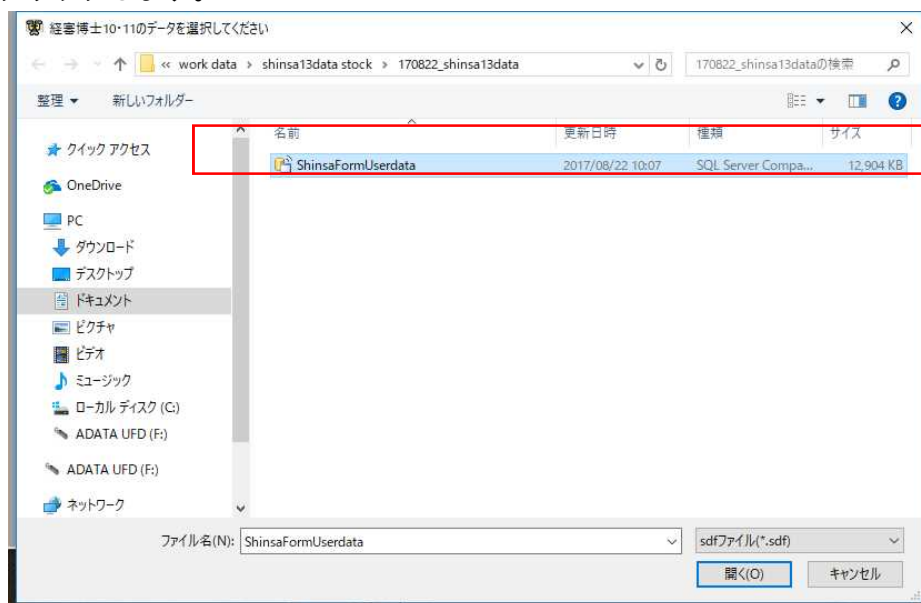
- 【1】 [メニュー] - [ヘルプ] - [経審博士 10・11・12・13 データ取り込み] を指定します。
この機能は経審博士 12 のデータも含めて取り込むことができます。



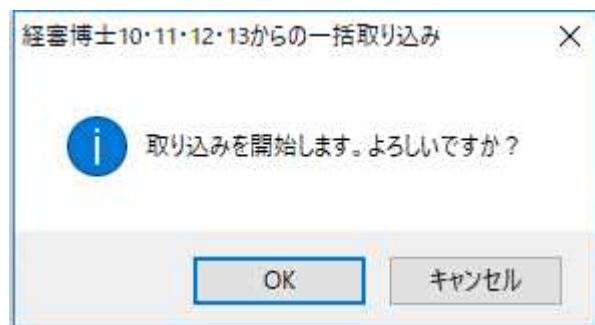
- 【2】 「経審博士 10・11・12・13 からの一括取り込み」の画面になりますので、<ファイル指定>ボタンをクリックします。



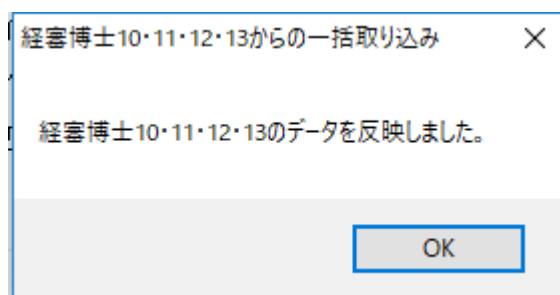
- 【3】 経審博士 (+Form) シリーズ、もしくは、経審博士 13 (+Form) のデータを指定します。ファイルの数だけ作成したフォルダを指定します。その中の ShindaFormUserdata を指定して<開く>ボタンをクリックします。



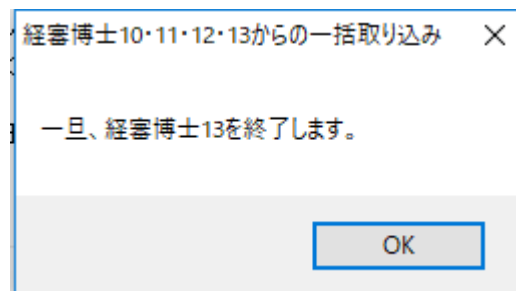
- 【4】 取り込み確認の画面がでますので取り込むときは、<OK>ボタンをクリックします。



- 【5】 「経審博士 10・11・12・13 のデータを反映しました。」のメッセージで<OK>をクリック。一旦、経審博士 13 を自動的に経審博士 13 を終了しますので、再度、プログラムを立上げてデータが移行されたか確認をしてください。



- 【6】 読み込んだデータが正しいか、再度、経審博士を起動して [メニュー] [ファイル] [経審申請システム] を指定して確認を行います。ここに、データがあれば復帰したことになります。



1-3 プログラムのインストール場所を変更する

1-1 か 1-2 で通常は対処できますが、これでも稼働できないことがあります。このケースは経審博士シリーズのインストール先を変更します。

1-3-1 インストール先の変更

経審博士は、C:\program files\shinsa\ ※1 にインストールされるように設定しています。これを C:\shinsa\に変更する方法です。

※1 32 ビットマシンは C:\program files(x86)\shinsa13\ となります

1-3-1-1 経審博士のプログラムをアンインストールします

1-1-1 のアンインストールの方法と同様に実施します。

1-3-1-2 プログラムの再インストールをします

1-1-2 と同様のインストールを実施します。

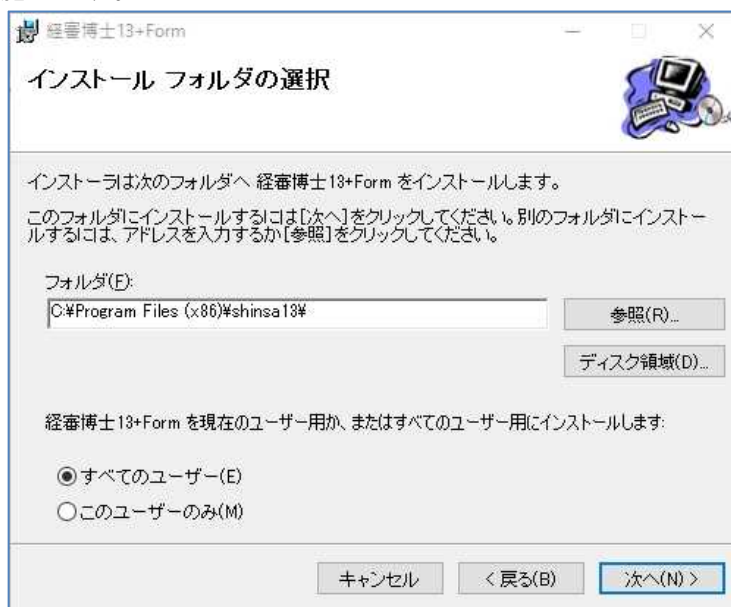
このとき、右の「インストール フォルダの選択」で

C:\program files(x86)\shinsa13\

となっていますが、ここを

C:\shinsa13\

と変更してインストール実施します。



1-3-1-3 データの読み込み

1-2 で探したデータを経審博士 13 の「経審博士 10・11・12・13 データ読み込み」で読み込みます。

以上の 3 つの方法でほとんどのお客様は、経審博士を稼働させることができます。是非、お試しください。

長期的に経審博士を使用しないときは、[メニュー]-[ヘルプ]-[経審博士 13 データバックアップ]で他のフォルダか USB メモリーに記録していると安心です。

以上の操作で復帰できないときは、改めて連絡をください。